

# 防災科研機関リポジトリの取り組み

社会防災研究領域 総合防災情報センター 自然災害情報室

室長：内山庄一郎  
室員：田中亜紀子・池田千春・前田佐知子・樋山信子  
栗栖和恵・篠崎いずみ・竹口明希

## 研究所の『知』を今に活かし、未来へつなぐ

- 【知の公開】 防災科研の研究成果をWebを通じていつでも・どこからでも利用可能です。
- 【収録内容】 約3,100点の論文・記事を取録。約4,200点のメタデータを整備しています。
- 【つながり続ける】 web上で唯一の識別子(DOI)を付与し、1つのURLで恒久的なアクセスができます。

### 1. 現在公開中のコンテンツ

「防災科研機関リポジトリ」は、防災・減災に関する知識を社会に還元するため、防災科研の刊行物や研究データなど、研究成果を取録しているデータベースです。古くは1965年刊行の資料から公開しています。現在約3,100点の論文・記事、約4,200点の論文・研究データのメタデータを取録しています。【防災科研 機関リポ】で検索してください。

#### 【研究報告】

年1回刊行。防災科研の研究部署による研究成果を報告する論文集です。



防災科研 研究報告第89-90号表紙

#### 【主要災害調査】

逐次刊行(不定期)。主要な自然災害の概要や特徴を調査を実施し取りまとめた報告書です。



防災科研 主要災害調査 第61号表紙

#### 【研究資料】

逐次刊行(不定期)。各部署の研究成果や関連資料、観測データなどの実証的な記録を中心とした資料群です。



防災科研 研究資料第528号表紙

#### 【定期刊行物以外】

上記3種以外にも、研究データ(メタデータ)、報告書、講義資料、一般向け広報誌など、多様かつ多数の成果を公開しています。

### 2. 利用実績

Webサイト全体のアクセス数：37万回超/年  
本文ファイルダウンロード数：20万回超/年  
(2023～2025年の平均)

### 3. 今後の展望・方向性 知の「蓄積」から「活用」へ

#### ■ 研究データへの対応拡大

論文だけでなく、実験・観測の研究データの登録・公開も促進します。研究の透明性確保と、より使われる機関リポジトリとなることを目指します。

#### ■ 利便性の向上と連携

長期かつ安定的な運用を行うことで、防災科研の知見を災害・防災対策につなげることを目指します。

#### 研究報告 ダウンロード回数 top3

著者、タイトル、出版年、	収録号数	回数
三輪, 長井. 表面・地下爆発におけるエネルギーとクレーター径のスケーリング関係の更新, 2022.	87号	650
鈴木, 関東平野の地下地質構造, 2022.	63号	580
井口, 伊勢湾台風災害の特徴, 2009.	75号	558

#### 主要災害調査 ダウンロード回数 top3

著者、タイトル、出版年、	収録号数	回数
長谷川 ほか. 2011年東北地方太平洋沖地震による利根川流域の液状化被害, 2012.	48号	304
鈴木 ほか. 岐阜県北東部における令和2年7月豪雨被害調査および下呂市の過去の風水害記録と類似性, 2022.	60号	285
TOPRAK ほか. カフランマラシュ地震後のライフラインインフラの状況, 2025.	61号	254

#### 研究資料 ダウンロード回数 top3

著者、タイトル、出版年、	収録号数	回数
田口 ほか. 災害時における衛星リモートセンシングの実利用に向けた研究開発-「衛星ワンストップシステム」の開発-. 2023.	497号	1736
長井 ほか. 国内活動的火山の噴出量階段図：火山活動評価と火山防災への基礎資料, 2024.	500号	918
藤原 ほか. 全国を概観するリアルタイム地震被害推定・状況把握システムの開発, 2019.	432号	760

#### 定期刊行物以外 ダウンロード回数 top3

著者、タイトル、出版年、	回数
平田 ほか. 「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」総括成果報告書, 2022.	1764
田村 ほか. 2019年度成果報告書 サブプロジェクト (a) 「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ利活用に向けた連携体制の構築」, 2020.	656
内山. オルソ画像作成の基礎, 2023.	617

集計期間：2025年4月1日～12月31日

